



お次の番だよ 酔八拳！
 当たれば怖い 天中殺
 マムシ酒なら なお怖い！

SNAKY MONKEY

(カラー作品)

スネーキーモンキー

蛇拳

ジヤッキー・チエン
 ユアン・シアオ・ティエン
 ホアン・チョン・リー

製作/ウン・シー・ユアン
 監督/ユアン・ウー・ピン

マグナム&蛇形拳
 —これが男のダンディズム



まばた 瞬きひとつ許さない・奴は狼の影！
 80年代の射手・優作が挑む遊戯シリーズ待望の第3弾！

処刑遊戯

松田優作・主演/村川透・監督作品

企画・黒澤満・柴垣達郎・伊藤亮爾 ■脚本・丸山昇一 ■撮影・仙元誠三 ■製作・東映セントラルフィルム

●かいせい

お次の番だよ酔八拳！ 当れば怖い天中殺！ マムシ酒ならなお怖い！ 酔八拳のズッコケ・ヒーローが、またまたやって来た。

79年夏、若者たちの人気を爆発的にさらい、日本中をアツと言わせた男、われらがヒーロー「ジャッキー・チェン」。日本上陸第1作「ドラングモンキー・酔拳」は、酒を呑み酔えば酔うほど強くなるという奇想天外な着想、香港映画特有のスピーディーなテンポ、バカウケギャグの連続で堂々の大ヒットとなった。

酔八拳のユニーク極まるアクション、そのすさまじいパワーと、ジャッキー・チェンのスーパー・コミカルぶりとが、びったり歩調が合ったのが大ヒットの原因。

さて、全国各地の熱烈なジャッキー・ファンの要望（宣伝部は手紙の山に押しつぶれッ！）に応じて、急拠公開を決定したのが、この「スネーキーモンキー・蛇拳」だ。

なんてったって、この一作で、ジャッキーがスターダムにのし上り、一挙に一本、一億五千万円のギャラが要求できるようになった記念すべき作品だけあって、その神技とさえ言える必殺必笑の「スネーキー拳法」は、見る者を呆然とさせること間違いなし。この映

画で、はじめて日本のファンの前に現われる、手の動きが蛇のようにしなやかに動く「スネーキー拳法」のすばらしさは、日本のファンをしばりさせ、空前のジャッキー・ブームの決定打となるだろう。

80年代のスーパー・アクションは、従来のドラゴン拳法のような、キビシいきびしい拳法とは、まるつきりちがう、ムリせず、ムダせず、ツツばらず、根性カラテから百八十度転回した人間味のある「ジャッキー拳法」の
出番！！

主演は、この名前を知らないようじゃ、もう街を歩くのもハズカシイ、80年代のズッコケ・ヒーロー、ジャッキー・チェン。ドラングモンキー・酔拳」以上の笑いとスリルを十二分に見せてくれること、うけあいだ。

また「ドラングモンキー・酔拳」で、年に似あわぬ絶妙の演技とアクションを見せてくれた、スウ爺さんこと、ユアン・シアオ・テイエンが、またまた、70歳をこえたとはどう
てい思えない軽快な身のこなしで、楽しませてくれる。

ブルース・リーも、ミスター・ブーも、みんなまとめてビックリした「ジャッキー旋風」天中殺もハダシで逃げだす第2弾の登場だ！



最も危険な遊戯



殺人遊戯

そして第3弾！ 処刑遊戯

●かいせい

若いファン層を魅了した「最も危険な遊戯」「殺人遊戯」に続く待望の《遊戯シリーズ》第3弾。

80年代のヒーロー・松田優作と、注目の俊オ・村川透監督のビッグ・コンビでおくるシヤープなハード・アクション強力篇である。いま、最もユニークな主人公として人気を呼ぶ殺し屋・鳴海昌平の敏捷果敢なアクションを展開するこの《遊戯シリーズ》最新作は、

正体不明の「秘密組織」を登場させて、迫力に満ちた戦いのドラマを打ち出している。

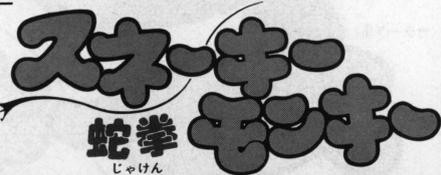
ストーリーは、ある日突然、何者かに女と共に拉致された鳴海昌平の行動を追って展開。何処とも知れぬ地下室で、凄しいリンチを受けた鳴海は、その相手から「殺し」を依頼される。そのリンチは、鳴海の殺し屋としての力量を試すためのもの。やがて第1の殺人依頼、第2の殺人依頼を引受けて動き出した鳴海がぶつかつた不気味で巨大な壁——、それは、殺しの依頼主でもある日本の秘密公安組織だ。日本の機密を盗んだスパイを殺せとの依頼を受けて、それを決行するかに見せながら、見えざる敵、謎のシークレット組織へ逆潜入して戦いを挑む鳴海。その大アクションがラストで爆発する。

大ヒット作「蘇える金狼」の名コンビ・松田優作と村川透が、今回はとくに、シリーズの売りものであるハード・アクションを、さらに強烈タッチで迫力倍増を企て、新テクニクを次々と繰り出しているのが見もの。これに加えて独得のナウ・フィリングに、ヤングに受ける現代感覚あふれるヘーソスも絶妙に挿入して、快テンポの映画展開を試みて
いる。

処刑遊戯

しよけいゆうぎ

SNAKY MONKEY



渋谷区渋谷1丁目24番12号

渋谷東映劇場

(〒150) 電話(400)1277番